

仮囲いアートについて

長期にわたる工事現場のイメージアップを目的に、事業者の提案により、市内の大学の協力を受け、実施を予定しているものです。

① 仮囲いアートとは

安全及び環境対策のために設置している工事現場の鋼板製の白い仮囲いを、キャンパスに見立てイラスト等を描きます。
無機質な印象の仮囲いを華やかに彩り、工事現場のイメージアップにつなげることを目的としています。

② 概要

○設置場所

忠生 781 号線沿いの仮囲いの一部：交差点付近～南側工事車両ゲート

○作業時期

2018 年 3 月頃

○展示期間

2018 年 4 月～2021 年春頃（予定）

③ 検討案

玉川大学芸術学部の学生とともに、施設計画や現地の周辺環境からイメージされるデザインコンセプトの案を作成し、制作作業の進め方について検討を進めています。

<デザインコンセプト> (案)

「高度先端技術によるハードとハート（やさしい心）をつなぐ」デザイン
ごみ処理の先端技術（ハード）×分別収集等の市民意識（やさしい心）の
総合力をさらに高めていく、という意味合いを込めたもの。

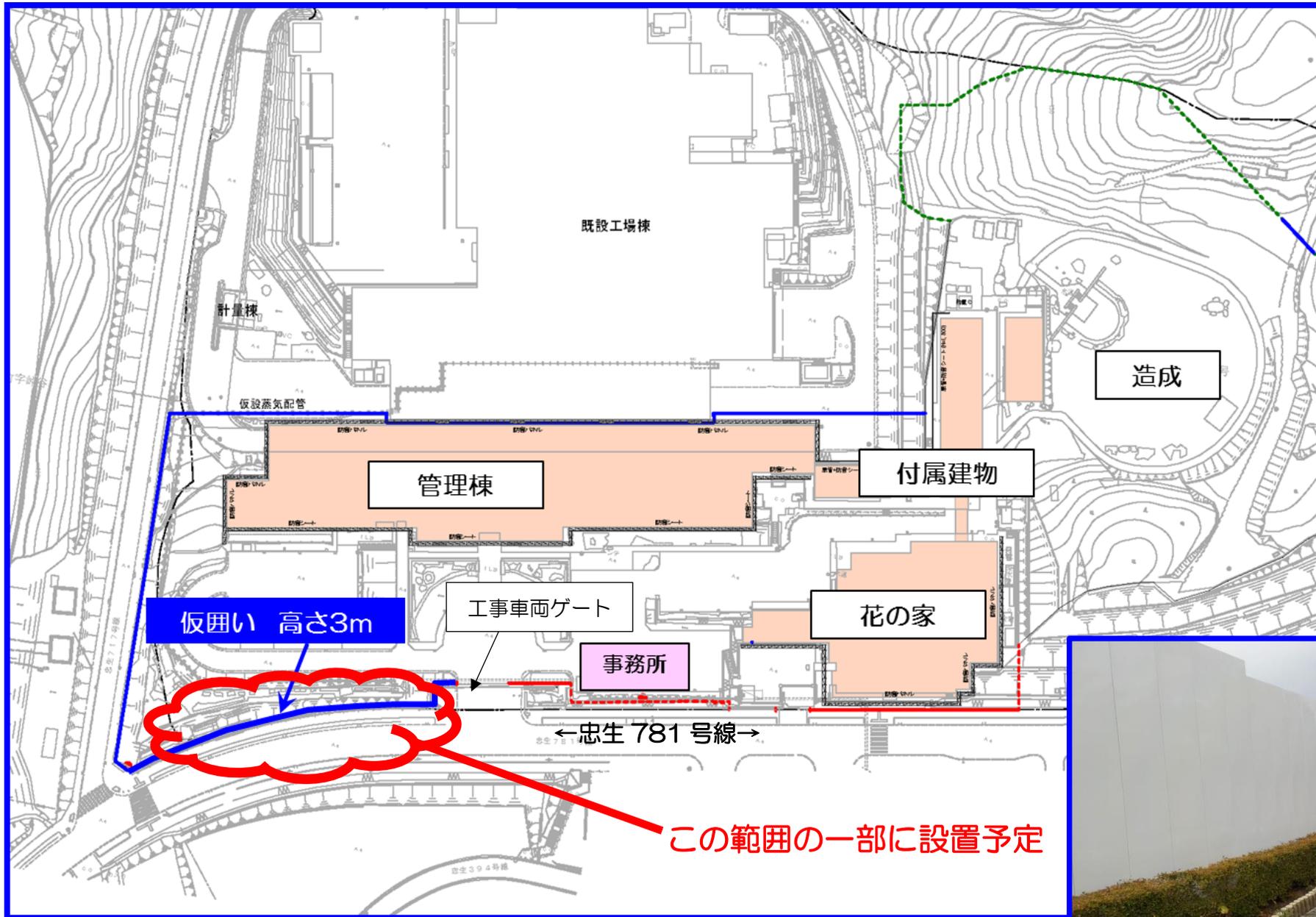
○制作作業

仮囲いアートの制作にあたっては、通学路として利用している「図師小学校」へ協力を依頼し、生徒たちの協力参加のもと進める案を検討しています。

○作業内容

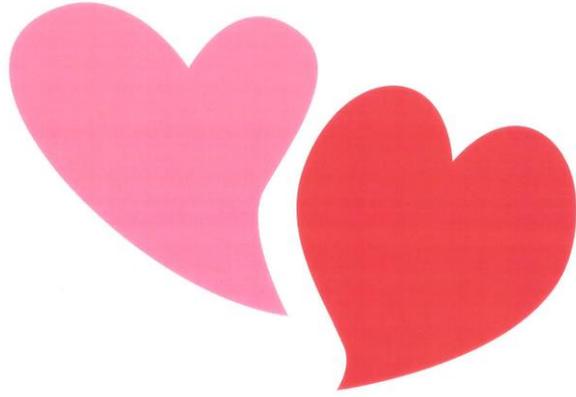
デザインコンセプトの基づき描かれたイラストを、候性に優れたカッティングシートに印刷し、仮囲いに張り付けます。

<仮囲いアートの設置位置（予定）>

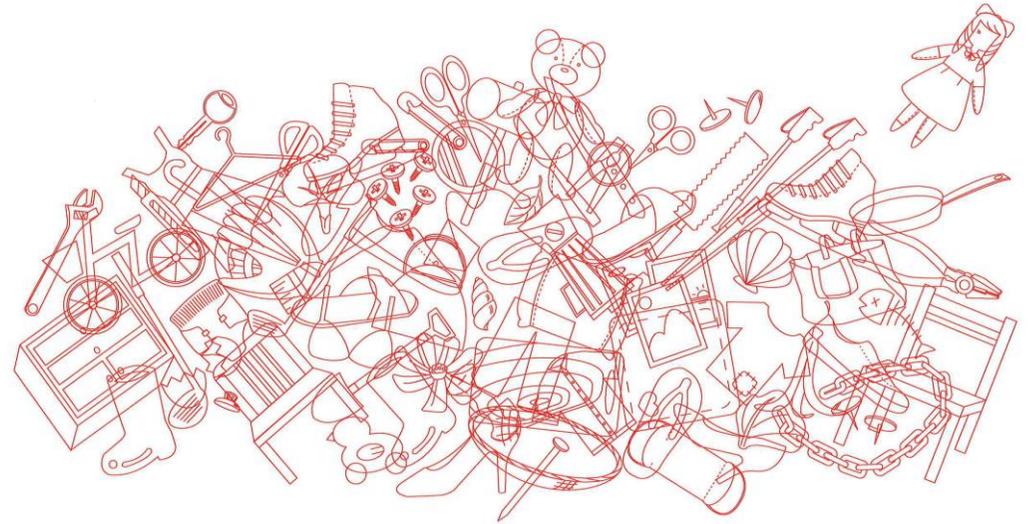


この範囲の一部に設置予定

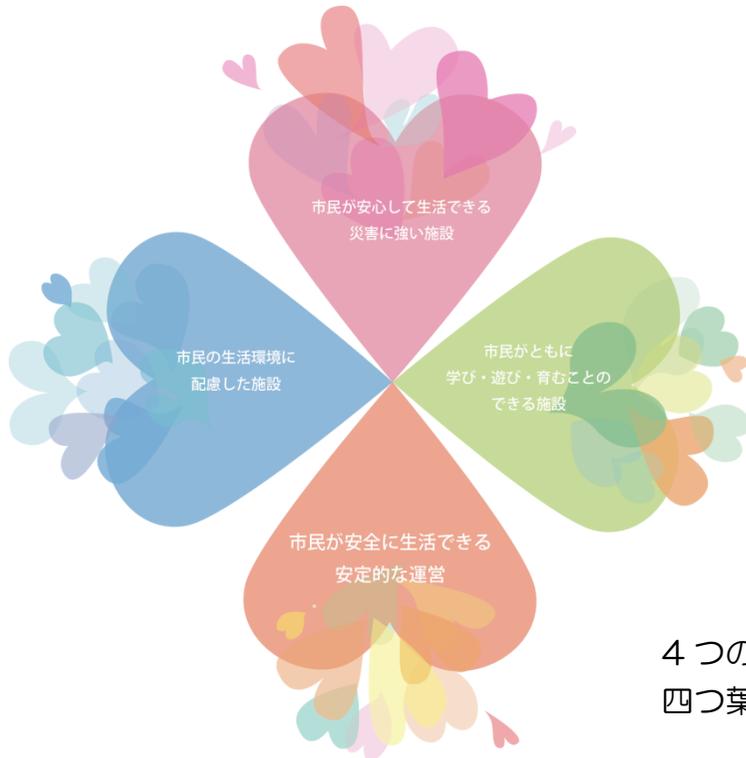
<デザインイメージ案（変更となる場合があります）>



基本のメッセージシンボル（ハート形）
ピンク色は桜の花びらに見立て、桜並木との一体感を創出



新施設で分別・再生・処理される前の資源（ごみ）のイラスト
施設にて資源化される様子をデザインにて表現する予定



市民が安心して生活できる
災害に強い施設

市民の生活環境に
配慮した施設

市民がともに
学び・遊び・育むことの
できる施設

市民が安全に生活できる
安定的な運営

4つの事業コンセプトのハート形が組み合わせ、
四つ葉のクローバーとしてシンボル化したイラスト